



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団**として**社会への情報提供**を行うため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、「秋の大会」開催のお知らせです。当会では、東京電力福島第一原子力発電所の事故について、その収束と今後の教訓に資するため、学術的、技術的見地から検討を行っていますが、本大会において特別シンポジウムや特別講演等を開催することいたしましたので、下記にご案内いたします。

日本原子力学会「2011年秋の大会」開催 一般公開セッション（入場無料）
9月19日～22日 北九州国際会議場・西日本総合展示場

日時： 2011年9月19日(月)～22日(木)

場所： 北九州国際会議他(北九州市小倉北区浅野 3-9-30 <http://www.convention-a.jp/>)

主催： 一般社団法人日本原子力学会 (<http://www.aesj.or.jp/>)

後援： 独立行政法人日本原子力研究開発機構

- 福島第一原子力発電所事故に関する特別シンポジウム 9月19日 10:00～17:00
(詳細は裏面をご覧ください)
- 特別講演 9月20日 11:00～12:00 メインホール
「日本周辺の大津波とシミュレーションの進展」 東北大名誉教授 首藤伸夫
- 部会・連絡会セッション
- 【バックエンド部会】 9月21日 13:00～14:30 B会場
「福島第一原子力発電所高汚染水の処理処分の課題」
- 【社会・環境部会】 9月22日 13:00～14:30 P会場
「全員参加型チェインディスカッション『福島事故後の世論をどう読み、どう向き合うか』」
- 【新型炉部会】 9月21日 12:30～14:30 N会場
「GIF、第4世代炉国際フォーラムの現状」
- 【海外情報連絡会】 9月22日 13:00～14:30 A会場
「チェルノブイリから25年—シェルター・プロジェクトのあゆみ—」
- 【シニアネットワーク連絡会】 9月22日 13:00～14:30 B会場
「原子力の安全とエネルギー問題を、次世代若者とシニアが語る」

※ 専門セッション(要参加費)プログラムは学会HPをご覧ください。

http://www.aesj.or.jp/meeting/2011fj/J11Fall_TOP.html

本件に関する取材等お問合せ先
広報情報委員会 小川順子(東京都市大学) TEL: 090-3243-0235



福島第一原子力発電所事故に関する特別シンポジウムのご案内

日 時 2011年9月19日(月)〔敬老の日〕10:00-17:00(開場 9:30)

場 所 北九州国際会議場 メインホール

(福岡県北九州市小倉北区浅野 3-9-30 <http://www.convention-a.jp/sponsor/kokusai/>)

参加費 無料

プログラム(予定)

10:00-10:10 開会挨拶……………日本原子力学会会長 田中 知(東京大学)

【現状と見通し】

10:10-10:35 福島第一原子力発電所の現状と見通し……………技術分析分科会主査 二ノ方 壽(東京工業大学)

10:35-11:00 福島第一以外の原子力発電所の現状と見通し……………技術分析分科会 奈良林 直(北海道大学)

11:00-12:00 環境影響、線量評価および放射能計測の現状と見通し 放射線影響分科会

1)放射能分布の現状……………中村尚司(東北大学)

2)作業員および住民の内部被ばく線量評価……………百瀬琢磨(日本原子力研究開発機構)

3)放射線計測の留意点……………井口哲夫(名古屋大学)

—————昼 休(12:00-13:00)—————

【今後に向けて】

13:00-13:20 汚染水処理処分の課題……………バックエンド部会長 川上 泰(原子力安全研究協会)

13:20-13:40 土壌・家屋等の除染方法カタログ……………クリーンアップ分科会(調整中)

13:40-14:00 福島事故に対する日本原子力研究開発機構の取り組みと今後の方向

…戸谷一夫(日本原子力研究開発機構)

14:00-14:20 津波に関する確率論的リスク評価について

…標準委員会 リスク専門部会 津波 PRA 分科会主査 山口 彰(大阪大学)

14:20-14:40 原子力発電所の震災—事故の遠因……………標準委員会委員長 宮野 廣(法政大学)

—————休 憩(14:40-15:00)—————

【パネルディスカッション】

15:00-16:50 福島事故に対して原子力学会は何かができるか、何をすべきか

コーディネーター 田中 知(東京大学)

パネリスト 講演者から若干名および

出光 一哉(九州大学)

技術分析分科会 岡本 孝司(東京大学)

技術分析分科会 杉山 憲一郎(北海道大学)

バックエンド部会副部会長 宮原 要(日本原子力研究開発機構)

放射線影響分科会主査 占部 逸正(福山大学)

16:50-17:00 閉会挨拶 ……………「原子力安全」調査専門委員会主査 澤田 隆(東京大学)

本シンポジウムの取材申し込みについて

①氏名 ②所属組織 ③E-mail アドレス ④.携帯電話番号⑤.取材人数(記者、カメラマン、TV カメラの台数)を明記の上、9月14日(水)までに <11fall-symp@aesj.or.jp> 宛お申し込みください。

なお、取材希望が多い場合、1社の人数を制限させていただくことがあります。

本件に関する取材等お問合せ先

広報情報委員会 小川順子(東京都市大学) TEL: 090-3243-0235